

朗読 の森

～橋の下～

山本周五郎作の人情時代小説



2026年6月14日(日) 14時より開催

作品紹介

「練り馬場」と呼ばれる草原で、若侍が夜明け前の暗がりの中を歩いていると土合橋の下で焚火を囲む二人の老人に出会う。彼らは「夫婦乞食」として知られる人々で、城下の人々からはある種の尊敬を集めている。老人はかつて侍であり、愛と友情の間で苦悩し、最終的には愛する女性のために友人を斬り、出奔した過去を持っていた。老人は若者の様子を伺いながら話しはじめる。彼らの過去は、若侍に深い影響を与える。老人は自らの過去の選択を振り返り、若侍に対して、怒りや悲しみ、苦しみさえも人生の一部であり、それらを通じて人は成長すると語ります。老人の言葉は若侍の心に深い影響を与え、新たな光をもたらし、新たな人生を歩むことになる。

作者：山本周五郎(やまもとしゅうごろう) 1903年-1967年

日本の小説家。質店の徒弟、雑誌記者などを経て文壇に登場。庶民の立場から武士の苦衷や市井人の哀感を描いた時代小説、歴史小説を書いた。

参加費：無料

定員：40名(中学生以下保護者同伴)

会場：篠崎文化プラザ 3階講義室

出演：朗読の森／岡崎ちか子

音楽／福谷紀美子

お申込み

5月19日(火)14時～

電話もしくはHPより

03-3676-9071



しのぎ
文化プラザ

主催：篠崎文化プラザ
東京都江戸川区篠崎町7-20-19
都営新宿線篠崎駅西口直結 徒歩2分

朗読 の森

～橋の下～
山本周五郎作の人情時代小説

2026年6月14日(日)
14時より開催

参加
無料

出演者プロフィール



おかざき

岡崎ちか子（朗読の森・主宰）

千葉県市川市在住。演劇、ミュージカル、即興演劇を中心に活動。各種専門学校、声優養成所等の演技講師、フィットネスクラブ等（ボイス・アクト、ストレッチ）講師。2004年より「朗読の森」主宰。即興演劇を取り入れた朗読講座は老若男女楽しめる。江戸川区を中心に図書館、学校、イベント等、地域密着の公演は人気が高い。



ふくたに きみこ

福谷紀美子（音楽担当）

大阪府出身、江戸川区在住。朗読の森、現メンバーの最古参。会社勤務の傍ら、即興演劇(インプロ)と出会いパフォーマンス活動開始。朗読表現だけではなく、即興演奏、音楽制作も積極的に行う。

ろうどく もり
朗読の森

朗読の森は江戸川区を中心に活動しています。朗読、朗読劇、インプロ（即興演劇）を楽しく学びながら学校、図書館劇場公演、そしてワークショップ開催等、多岐にわたり活動。子供から大人まで様々な作品の楽しさを伝えています。